

第20次調査の概要

どこを（調査場所）



いつ（調査期間）

平成12(2000)年10月17日～11月4日

だれが（調査した人）

三浦市教育委員会

調査概要

所在地 神奈川県三浦市三戸字ハタ238番1、238番6

調査面積 26.4m²

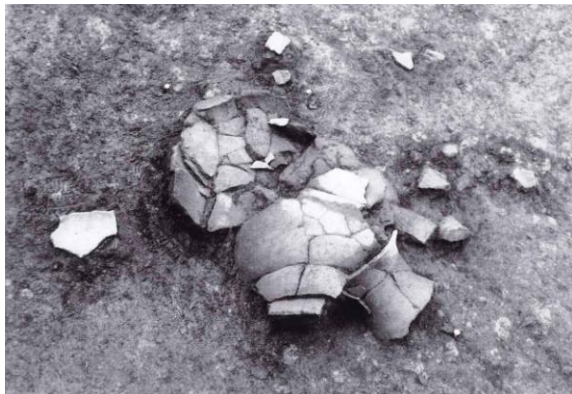
調査原因 三浦海岸聖書協会新築工事に伴う調査

主な遺物 溝状遺構

主な遺物 弥生土器（完形土器6点）

特記事項

溝状遺構から出土した土器は弥生中期後半の時期で、溝の幅は約3.5m、深さ70cmを測る。溝の端部の形態は、この時期に見られる方形周溝墓に類似しており、方形周溝墓とするならば、その幅の規模から見て、一辺の長さが20mを超える可能性をもっている。（参考文献：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 三浦海岸聖書教会新築工事に伴う第20次調査・2000年5月』）



溝の底より出土した土器の出土状況（出典：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 三浦海岸聖書教会新築工事に伴う第20次調査・2000年5月』）



溝全体の検出状況及び溝の底から出土している土器の検出状況。溝は方形周溝墓の溝の可能性を持つ。（出典：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 三浦海岸聖書教会新築工事に伴う第20次調査・2000年5月』）